

の南九州

第 20 号
平成24年11月5日発行

議会だより

MINAMIKYUSHU CITY



白熱するポニーレース（夢・風の里アグリランドえい）

災害復旧費など 3億4745万円 補正 2
条例制定・改正，請願・陳情 5
23年度一般会計決算213億円 6
一般質問14人が登壇 8
市民の声 16

費など補正

9月定例会

9月定例会は、9月4日から9月28日までの25日間の会期で開催されました。
補正予算をはじめ、南九州市暴力団廃除条例の制定、23年度決算認定など原案どおり可決され、また、陳情2件が採択されました。

一般会計の主な補正

補正予算の主なものは、農業施設災害復旧費、道路橋りょう整備事業費など、3億474万59千円を追加し、補正後の予算総額を214億737万2千円としました。

総務費

○総務人事関係費

25万7千円

本市出身で、高輝度青色発光ダイオードを実現させた名城大学院教授の赤崎勇氏に市民栄誉賞を授与するための経費。

○世界記憶遺産推進費

713万5千円

知覧特攻平和会館で収蔵している遺書や遺品の世界記憶遺産登録推薦に必要な書類の英語翻訳及び特攻隊員管理システムの機能追加などの委託料である。

民生費

○障害者虐待防止対策支援事業費

210万4千円

障害者の虐待防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律が10月1日に施行されることに伴い、各種対策を講じ障害者虐待の未然防止や支援などの充実を図る事業で委託料などが主なものである。

審査の中で

問 具体的な事業内容は。

答 南九州市障害者虐待防止ネットワーク推進会議を設置し、障害者虐待の予防、早期発見、当事者相互の保護・支援などに関する協議や夜間、休日の相談窓口の開設などを行う。

○地域支え合い体制づくり事業費

354万円

高齢者の地域支え合い体制づくりの構築を支援し、在宅歯科医療を推進するための補助で、財源は全額県補助金である。

○児童扶養手当関係費

304万8千円

母子父子家庭の受給対象児童数が、見込みより増えたことによる扶助費の増額である。

衛生費

○予防接種関係費

813万8千円

ポリオ予防接種が生ワクチンから不活化ポリオワクチンに移行するための委託料などである。

○地球温暖化対策事業費

960万円

住宅用太陽光発電導入支援事業補助金に不足が生じるため増額するものである。



青色発光ダイオードを使用した電光掲示板



補助金を活用し設置した住宅用太陽光発電設備

農業用施設災害復旧

○頤娃保健センター管理費

360万円

空調機の経年劣化による取替工事が主なものである。

農林水産業費

○農政関係費

368万円

知覧特攻物産館のトイレリフォーム及び南九州市農業公社の汎用コンバ



老朽化した汎用コンバイン

イン導入に対して助成を行うものである。

審査の中で

問 便器などを取り替えない理由は。

答 洗面台や便器など、汚れのひどい19台を交換すると多額の費用となるため、研磨し、コーティングすることで新品と同等になる。

○力みなぎる南薩ブランド振興対策整備事業費

352万9千円

ブランド産地の維持・拡大のため、さつまいも（高圧洗浄機）きんかん（防鳥ネット）を整備するもので、財源は県補助金が主なものである。

○共生・協働のむらづくり活性化事業費

50万円

地域の団体と協働でむらづくりに取り組む神殿地区の地域資源を活用して農村の活性化を図る経費で、財源は全額県補助金である。

○産地づくり対策事業費（生産流通関係）

270万円

かぼちゃの作付面積拡大と品質向上のため被覆施設を整備するもので、財源は全額県補助金である。

○市単独土地改良事業費

630万円

えい二枚貝栽培センターへの企業誘致に伴



企業誘致に伴い付け替えられる農道

う、敷地内の代替農道などの整備に係る工事請負費である。

○市有林管理事業費

500万4千2百円

市有林の適正な管理を行うため整備する林業専用道笹ヶ峯線の測量設計業務委託料と工事請負費を追加するもので、財源

土木費

○市道単独整備事業費

4350万円

企業誘致に伴い、隣接する市道整備に要する経費などである。



豪雨により陥没した農道

消 防 費

○消防総務費（一般経費）

385万7千円

川辺方面隊中央分団の消防拠点施設新設工事に係る工事請負費などである。

教 育 費

○幼稚園管理費（一般経費）

872万4千円

額娃幼稚園の屋上が、膨張・亀裂によりコンクリート破片が落下し危険なため、園舎の解体及び



調査により腐食が確認された

仮設園舎の設計に要する委託料などである。

○体育施設管理費（平和公園）

1000万円

知覧体育館の雨漏り改修に係る工事請負費である。

災害復旧費

○農業用施設災害復旧費

449万4千6百円

本年6月から7月にかけての梅雨前線豪雨による農地及び農業用施設（田畑6地区、水路5地区、農道3地区）の災害復旧に係る工事請負費である。

特別会計

国民健康保険事業

○医療費適正化特別対策事業

130万円

医療費通知及び後発医薬品差額通知の9月発送分以降の郵便料を増額する。

後期高齢者医療

○一般管理費

164万9千円

後期高齢者医療業務端末（広域連合と接続されているパソコンで日常の手続き事務を行う）が老朽化しているため、パソコン及びソフトなどを更新する。

○後期高齢者医療広域連合納付金

41万9千円

出納整理期間中に収納した、平成23年度保険料を広域連合へ納付したため、同額の負担金を増額する。

介護保険事業

○介護給付費準備基金積立金

218万4千6百円

23年度精算による積立金の増額。

○一般会計繰出金

164万4千3百円

23年度精算による繰出金の増額。

簡易水道事業

○施設管理費（一般経費）

121万5千円

水道料金改定に伴い、量水器未設置の額娃地域の墓地、公民館などに量水器と量水器ボックスを購入する。

○建設改良費

90万4千2百円

水道料金改定に伴い、量水器未設置の額娃地域に量水器を設置する工事請負費。

公共下水道事業

○管渠及び排水設備維持管理費

100万円

公共下水道新規加入者の公共枓設置に要する工事請負費。

水道事業

○改良費

380万円

歩道整備工事に伴い配水管の布設替えに要する工事請負費。



工事予定の市道永田本別府線

陳 情 採 択

◎「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める陳情書

提出者：南九州市川辺町上山田1831-1
本門 俊一郎

協同労働の協同組合は、働く人が協同で出資し協同で経営する形をとっている。企業で正規に雇用されない若者や退職した高齢者にとっても、働きやすい職場を自分たちで作る新しい働き方となり、地域の様々な課題に住民自身が取り組むための「組織」となることが期待されることから要請する。

意 見 書

世界の主要国では、労働者協同組合についての法制度が整備されていることから、国においても社会の実情を踏まえ、就労の創出、地域の再生・少子・高齢化社会に対応する有力な制度として、速やかな制定を要請する。

提出先：内閣総理大臣ほか関係機関

◎「こころの健康を守り推進する基本法」（仮称）の速やかな制定を求める陳情書

提出者：南九州市知覧町郡2818
江平 ヨリ

現在うつ病などのこころの健康と精神疾患の問題は、まさに国民誰にでも起こりうる生命・健康および生活にとって重大な問題となっている。

しかしながら、こころの健康と精神疾患対策に関しては一般医療との格差是正、地域生活を支える保健福祉サービスの基盤整備や職場・学校におけるメンタルヘルスの充実など今後推進すべき課題が山積していることから、精神医療改革、精神保健改革、家族支援を軸として、総合的・長期的な「こころの健康を守り推進する基本法」（仮称）の制定を強く求める。

意 見 書

こころの健康と精神疾患の問題は誰にでも起こり得る重大な問題となっているが、一般医療との格差是正、地域生活を支える保健福祉サービスの基盤整備や職場・学校などメンタルヘルスの充実などの解決に向け「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の早期制定を国に要請する。

提出先：内閣総理大臣ほか関係機関

条例の制定・改正

市内から暴力団排除

南九州市暴力団排除条例

南九州市からの暴力団の排除に関し、基本理念を定め、市及び市民等の役割を明らかにするとともに、暴力団の排除を推進し、もって市民の安全で平穏な生活の確保を図ることを目的に制定しました。

本会議における公聴会、参考人制度の導入

南九州市議会会議規則の改正

地方自治法では、公聴会の開催、参考人の招致が明確に認められていたのは委員会のみでしたが、小規模な地方公共団体においては、議員が少人数であるため、委員会で行うことが実態に合わない状況であったことから、今回の地方自治法改正にともない、委員会だけでなく本会議においても公聴会の開催、参考人の招致ができることとなったため、会議規則に、公聴会及び参考人招致について規定しました。

不採択となった請願・陳情

◎米軍機輸送機オスプレイ配備の撤回を求める請願書

◎消費税10%引き上げと社会保障の切り捨て中止を求める請願書

◎指宿市との消防広域化に反対し、4市での消防広域化を求める要望書

として硬直化！

一般会計

213億8,890万円

平成23年度一般会計と6特別会計及び水道事業会計決算認定が9月定例会に上程されました。議会で、一般会計決算特別委員会と特別会計決算特別委員会を設置し、主要施策の成果説明書や監査委員の決算審査意見書などを参考に執行部の出席を求め審査し、いずれの決算も認定しました。

平成23年度一般会計の歳入総額は220億5933万6493円、歳出総額213億889万5102円で、不納欠損額1127万9753円、収入未済額2億6254万6623円となっている。

収入未済額の主なものは、国・県補助金の繰越明許に係るものが828万4千円、市税、保育所負担金、住宅使用料及び市有地貸付料等に係る滞納額が1億7966万2623円であり、税など負担の公平性から、厳正な対応をとるよう要望する。

財政運営については依然として硬直化した状況であり、今後も行財政改革を進める中で、健全で弾力性のある運営に努めることを要望する。

一般会計決算の概要

区 分		23 年度	内 容
歳入	市 税	34億8054万円	市民税など私たちが納めるお金
	地方交付税	92億5353万円	市町村の均衡を図るため国が交付するお金
	国県支出金	41億2003万円	国県が使用目的を特定し交付するお金
	市 債	22億9715万円	市が事業のため借り入れるお金
	そ の 他	29億0809万円	使用料、繰入金、諸収入など
合 計		220億5934万円	
歳出	総 務 費	24億4683万円	自治会関係費、電算管理費、人件費などに使うお金
	民 生 費	60億2917万円	子供や老人、障害者など福祉全般の実務事業に使うお金
	衛 生 費	15億8250万円	健康管理及び清掃作業に使うお金
	農林水産業費	19億1974万円	農業、林業、水産業に使うお金
	土 木 費	17億3523万円	道路や河川公園整備に使うお金
	教 育 費	30億3937万円	教材備品や学校整備に使うお金
	公 債 費	25億7876万円	市の借金を返すお金（元金・利息）
	そ の 他	20億5730万円	議会・商工・消防・基金積立など
	合 計	213億8890万円	

市債(借金)と基金(貯金)の推移

区分	平 成 23 年 度		平 成 22 年 度	
	総 額	一人当たり (人口39,138人)	総 額	一人当たり (人口39,738人)
市 債	220億8,066万円	56万円	220億4,428万円	55万円
基 金	84億6,496万円	21万円	75億7,552万円	19万円

徴収率の向上と
効率的な財政運営を

23年度 決算認定

財政は依然

国民健康保険事業

問 医療費の伸びは。

答 21年度が49億2100万円、22年度は49億6200万円、23年度では51億2900万円となっております。3年間で被保険者が1000人近く減少しているにも関わらず、医療費の総額は増加しており、国保財政は逼迫している。今後、27年度から見込まれる消費税増税分がどれだけ充当されるかも見きわめながら、国保財政の健全化に努めていきたい。

後期高齢者医療

負担の公平性の確保は重要であるため、収納率向上と収入未済額の減少のため、支払い能力のある滞納者については、差し押さえなどを含め、厳正なる対応をとるよう要望する。

介護保険事業

問 施設に入れない待機者数とその対応方法は。
答 待機者数は409名

で、介護度により連続して30日間利用できるショートステイを紹介するなどの対応をしている。第5期介護保険事業計画で、小規模の特別養護老人ホームを市内に1カ所造る予定。

簡易水道事業

問 御領簡水の新たな水源の水質検査で基準値を上回った項目は。
答 基準値を上回るヒ素が検出され、現在、1年かけポンプの深さを段階的に調整しながら取水試験を行っており、基準値を超えるヒ素が出るようであればその井戸は廃止したい。

問 石綿管の延長は。
答 23年度末で川辺簡易水道は500メートル残っている。来年度で更新が終了の予定。顕娃



23年度完成した配水池（西元地区）

特別会計・企業会計決算額

区 分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
国民健康保険事業	63億483万円	62億4,968万円	5,515万円
後期高齢者医療	4億9,075万円	4億8,942万円	133万円
介護保険事業	43億1,706万円	43億60万円	1,646万円
簡易水道事業	4億2,412万円	4億905万円	1,507万円
農業集落排水事業	7,601万円	7,443万円	158万円
公共下水道事業	2億1,143万円	2億376万円	767万円
合 計	118億2,420万円	117億2,694万円	9,726万円
水 道 事 業			
収益的収入および支出	3億2,854万円	2億9,295万円	—
資本的収入および支出	1億6,458万円	2億8,528万円	—

水道事業

問 水道事業会計の今後の見通しは。
答 今年度から料金改定をした。老朽管更新は今

簡易水道中央簡水については、23年度末で505メートルあり本年度で終了。青戸簡水は933メートルで、県道石垣喜入線の改良工事にあわせて更新していきたい。

後も進める必要があり、配水池についても、地域水道ビジョンにおいて川辺・知覧地域ともに増強が必要であるとの指針が出されており、これらの事業を試算すると財源不足が生じることから、建設改良積立金を十分確保する必要がある。

が聞きたい!

14人が
登壇

いっぱん質問



蓮子 幹夫 議員

補助金

市長／公平性を確保しながら交付したい

各種団体等への

補助金は

蓮子 旧額娃町地域内の青色パトロールに対する助成、また、市交通安全協会への補助金を、増額するように検討する考えはないか。

市長 各種団体等への補

菊永 桜島の降灰が、南薩地区にも数回飛散しているが、本市の農作物への被害状況、支援策及び摘採前の茶園洗浄機・洗浄脱水施設の整備状況を問う。

市長 桜島の火山活動は過去最速のペースとなっているが、県が毎年行っている農作物被害の調査



菊永 忠行 議員

によると、本市の被害は平成23年度が16億6千万円で、お茶が約6割強を占めている。農家への支援策については、活動火山周辺地域防災営農対策事業及び県の日本一茶産地プロジェクト事業を積極的に導入し、ビニールハウス・茶生葉洗浄脱水施設及び茶摘採前洗浄機などの整備を行っている。

菊永 支援策は、農家と行政が一体となつて取り組まないといけない。また、水不足も懸念されるが、どのように進めていく考えか。

降灰対策

被害状況及び農家への支援策は市長／国・県事業を積極的に導入する



灰が付着した茶葉の洗浄

茶業課長 知覧地域では市の水道水を利用してはいるが、今後茶生葉洗浄機の設置が増えると、市の水道水だけでは不足することが予想されるため、地下水のボーリングも検討したい。

市政のここ

市長の政治姿勢を示せ

市政

市長／市民の声は聴いている

市長

南九州市では市

市民が行政に何を望んでいるか、なかなか市長は聞くことをしてくれない。また、行政が何をやるうとしているのか分からないという声を最近多く耳にする。市民の声を反映させるため、どのような取り組みを行っているか。



亀甲 俊博 議員

市民の意見を市政に反映させるため、パブリックコメント手続き、説明会や意見交換会などの各種会合、市民が主体となって原案から作り上げていく市民会議、アンケート調査など様々な市民参加の方法により意見を聴取している。

亀甲

指宿市との消防の

市長

何も住民を無視し

指宿市との消防の広域合併の件は、住民の安全安心の問題であるにも関わらず住民に説明をしなかった理由と、パブリックコメントの手続きをとらなかった理由は、



市政懇談会

て、これを進めていこうとは思いませんし、ただ一から十まで、住民の皆さんの意見を聴いてこれを進めていく気もないところです。

その他の質問

- ・特定不妊治療費の助成
- ・胃がん対策



颯娃地域の青色パトロール

助金については20年度に「見直しに関する指針」を示し、23年度に見直しを行った。補助金の目的・成果、必要性について検討し行財政改革を進めてきたが、各団体の内容等も大きく違うので公平性を確保しながら交付したい。

土地の名義変更の処理をどのようにする
考えか

市長／登記事務体制を整備し進めていく

蓮子

えい二枚貝栽培センター跡地の売却において、土地の一部が名義変更されておらず、同じ土地を二回買うとして不利

入会林野事業について、入会集団の意向を確認しながら取り組みたい。

益を被ることとなるが、土地の売買のトラブルを未然に防止するために入会林野事業を再度導入する考えはないか。

市長 市有地の未登記は2972筆ある。今後、登記事務体制を整備し、専門家にも相談しながら進めていく。

広域化の 取り組みは

市長／指宿との広域化に努力
する

消防広域



竹迫 毅 議員

竹迫 消防広域化の取り組みについて、無線デジタル整備の財源負担を含め、4市協議から現在までの経緯は。

市長 国の消防広域化の基本方針が策定され、県は平成20年3月、消防広域化推進計画を策定した。

本市は枕崎市、南さつま市、指宿市による「南

薩地域消防広域化運営協議会」を設立し、7回協議したが、本部位置で意見がまとまらず解散した。その後、枕崎を除く3市で協議したが本部位置で意見集約できなかった。3市の協議は断念した。

竹迫 経費削減は本市にとっても大事である。また、2つの組合に加入し、股裂状態であることにより市内での救急、救助、消火にも支障があり、これらの解決のためにも指宿との広域化実現に努力すべきと思うがどうか。

市長 実現するよう努力したい。



消防広域化住民説明会



深町 幸子 議員

深町 平成23年6月議会において、「市民音頭の制定につきましては、市民体育大会や各地域の祭り等市民参加の行事などで、歌い踊られることにより、市民の融和が図られ愛郷心を養うなどの効果が期待される。今年度職員で構成をいたします検討委員会を設置し、平成24年度の予算化に向けて準備を進めてまいりたい」と答弁している。市民音頭制作に向け、庁内検討委員会が設置され準備が進められていると思うが、これまでの経緯と今後の計画を問う。

市長 市民音頭の制作については、本年3月に職員10人で構成する庁内検討会を設置し、市民音頭制定委員の選定や制作に向けた工程について協議している。

市民音頭

今後の計画は

市長／平成25年度に決定する



市民体育大会での集団演技

制定委員は、各種団体、学校関係者、学識経験者、市役所職員など18人を決定する。

今後は、平成24年に歌詞を広報誌やホームページで募集し決定する。曲と振り付けは平成25年度に決定する計画である。

市民アンケート

調査の分析は

市長／基盤づくりが図られた



西 次雄 議員

西 合併に関する市民アンケートの調査結果を、どのように分析しているか。

市長 「保険・医療・福祉」「教育文化」「社会基盤・生活環境」「コミュニティ・その他」は比較的评价が高く、融和や一体感の促進など基盤づくりが図られた。

「産業・経済」「公共料金等」は厳しい評価となっているが、長引く景気低迷など、国の社会経済情勢や施設使用料などの統一によるものが大きく影響しているものと考ええる。



市民アンケート回収ボックス

西 「合併して良くなかった」が30%で、「良かった」の22%を上回っている結果をどう判断するか。

市長 これまで慣れ親し

んだ旧三町への思い入れや人事異動により顔見知りの職員が減ったこと、合併協議で施設使用料など統一を図ったことにより、地域によっては負担増となったことなどが影響していると考えている。

その他の質問

・学校のいじめ防止対策

対象者へ 助成の考えは

市長／25年度の予算化に向け検討



山下つきみ 議員

不妊治療

山下

少子高齢化の進展と人口減少が続く中、不妊治療費助成を実施している自治体が増加している。高額な治療費を要することから対象者に助成を行い、少子化対策に取り組む考えはないか。

市長 本市においても更なる少子高齢化の進展が予測されることから、地域の活力を維持していくためにも、定住促進、福

不妊治療費助成申請受付窓口 不妊に関する一般相談窓口

対 象	名 称	所 在 地	電話番号
鹿児島県 窓 口	加世田保健所	〒 897-0001 南さつま市加世田村原 2-1-1	0993-53-2316
	川辺保健センター	〒 897-0215 南九州市川辺町平山 6978	0993-58-3223
南九州市 窓 口	穎娃保健センター	〒 891-0792 南九州市穎娃町牧之内 2830	0993-36-1111
	知覧保健センター	〒 897-0302 南九州市知覧町郡 17530	0993-58-7221

※一般相談窓口のほかに専門相談窓口もございます。詳しくは支所保健センターにてお問い合わせください。

祉の充実、生活環境の整備等が必要である。

不妊治療については効果を確認できたので、25年度の予算化に向けて検討する。

山下 倒壊のおそれがある箇所をどのように保存するか。

市長 磨崖仏群の中の大五輪塔は倒壊の可能性が高く、現代に貴重な文化財としての情報を残すため、詳細な記録取りを行っている。本市の貴重な観光資源でもあることから、関係機関と連携し、保存工法の検討をしていく。

清水磨崖仏群の倒壊 防止対策は

市長／関係機関と連携し、保存工法の検討をしていく

立体交差を 要望する考えは

市長／総合的に検討する
よう要望する

縦貫道



塗木 弘幸 議員

塗木 南薩縦貫道「霜出道路」は整備区間に指定され調査測量が行われており、平面交差で計画されているが、市道との交差点も多く非常に危険であるため、立体交差を要望する考えはないか。

市長 側道を設けることで市道等を集約し交差点を少なくする。ただし、地形的な条件によっては

立体交差となりうる。総合的に検討するよう要望していく。

降灰による茶の被害
状況と今後の対策は
市長／降灰対策事業を
活用していく

塗木 桜島の爆発は、本年史上2番目の早さで700回を超え、南九州市においても一番茶、二番茶の生産期間に10回の降灰が確認されている。茶

農家への被害状況と今後の対策を問う。

市長 県茶市場に出荷し不落となり返品されたお茶が一番茶で25件、二番茶で317件あり甚大な被害が発生した。今後の対策として、降灰対策事業を活用し、能力の高い洗浄脱水機や摘採前洗浄機を計画的に導入していく。

その他の質問
・市道の整備



南薩縦貫道川辺インター

エコ対策

公共施設の
照明器具のLED化は

市長／計画的に進める



蔵元 慎一 議員

蔵元 首相官邸前では、脱原発を訴えるデモが行われ、日本のエネルギー政策は大きな転換を迫られている。再生可能エネルギーの創造、エコ事業への取り組みの観点から、庁舎、各公共施設、防犯灯などの照明器具を計画的にLED化する考えは。

市長 財政状況などを考慮すると、一挙に行うことは困難であるが、施設整備や改修に合わせて、計画的にLED化を進めていく。

委託料の業務見直しを
市長／効率的な予算執行を目指したい

蔵元 国会は、社会保障と税の一体改革関連法を可決、消費税増税がある



平和会館で使用されているLED電球

予定である。委託料はその影響が大きい。価格の適正化、業務の集約化によるスケールメリットなどを図り、財政の健全化や費用対効果の観点から、委託の仕様書など、業務の内容を見直す考えはないか。

市長 24年度予算編成から諸経費率について統一している。今後とも費用対効果を考慮し、より効率的な予算執行を目指したい。

岩崎育英基金

有効な活用策は

教育長／現在の運用を遵守



満留 秀昭 議員

市に3000万円の基金残高があり、それが眠っている現状である。その3000万円を岩崎育英財団に返したらと考えるが、市長の見解を問う。

満留 預金利率が非常に低い中、基金利子のみの活用では、現行また、将来的にも有意義な活用は望めないと考えるが、有効な活用を見いだす考えはないか。

教育長 運用については、「基金の取り崩しをすることなく、基金から生ずる利子を青少年の健全育成に関する事業に充当すること。」という取り決めがなされているので、現在の運用を遵守していきたい。

満留 財団法人岩崎育英財団が、同様な主旨で活動をしている。現在、本



倒壊の恐れがある大五輪塔

市長 わずか利子が5000円でも貴重な財源になると思うことから、返すというのともいかなものかと思う。

その他の質問

・清水磨崖仏群大五輪塔の倒壊防止対策

火葬場

検討委員会の状況は

市長／既存施設の延命化を図る



吉永 賢三 議員

吉永 火葬場検討委員会が、4回開催されているが、これまでの検討状況を問う。

市長 川辺火葬場は、男女別トイレの改修及び1号、2号炉の改修を行い、延命化を図る。

・額妊浄楽苑1号、2号炉の延命化の改修を完了させた後に一部事務組合

加入の手続きをすること。また、既存施設をできる限り延命し、限界に近づいた時に市で1施設あるいは南薩地区衛生管理組合管内で調査を行うなど意見が出ている。

消防広域化への取り組みは

市長／2市での協議を進めている

吉永 消防広域化に向けてこれまでの取り組みを問う。

市長 平成24年4月の広域化に向けて、4市で平成23年7月までに7回協

議し、幹事会を11回、専門部会などを61回開催し検討したが、協議項目の調整が進まず、また本部位置については、最後まで意見がまとまらなかった。平成23年7月に協議会を解散し、その後3市での協議でも意見集約ができず、3市での協議についても不可能と考え、平成24年7月に指宿市、南九州市消防広域化協議会を設立し、2市との広域化に向けて協議を進めている。

その他の質問
・河川管理



改修が待たれる川辺火葬場

消防広域

防災行政への取り組みは

市長／消防署の設置で消防力・防災力は高まる



田畑浩一郎 議員

田畑 現在の分遣所方式で防災力や救助体制は十分と考えるか。また、消防広域化をどのように進め、防災行政に取り組んでいく考えか。

市長 消防署のない市は県下19市の中で本市だけである。救助工作車など

の資機材不足や人員不足のため、防災力や救助体制は十分なものではないと考えている。

市民の安心安全を守るためには不可欠なものであり、指宿市との消防広域化を進めることで、消防署の設置も可能となり、財政状況の厳しい中、経費削減にもつながるものと思う。また、救助工作車などの資機材の充実

も図られ、南九州市の消防力・防災力が高まっていくと考えている。



広域化が進められている指宿地区消防組合

南部出張所

存続する考えはないか

市長／「合併協議会」の決定を尊重したい



内園知恵子 議員

内園 南九州市役所南部出張所は、南部地域住民の総合的暮らしの安定を図るため、ぜひ必要と考えるが、どう思うか。

市長 あれば便利だが、地域バランス等を考えると「合併後5年以内に廃止する」との合併協議会の決定を尊重せざるを得ない。

内園 利用状況は。

知覧支所長 若干は伸びている。

内園 これから高齢化も進み、車に乗れない方など弱者のためにも存続できないか。

市長 約束は約束で

守っていかねければならないと思う。

総合支所方式を堅持する考えは

市長／当面は、総合支所方式で

内園 総合支所方式を堅持する考えは。



本年度末で閉鎖する南部出張所

市長 耐震は、震度7程度を想定し、年次計画的に耐震補強工事を実施する。従って当面は、現在の総合支所方式、一部分庁方式でいく。

内園 庁舎のあり方市民検討委員会のなかで、「調査研究し、新庁舎建設の方向性を示せる様にした」とあるが新庁舎を造る考えはあるのか。

市長 新庁舎を造るとは一回も言っていない。

その他の質問
・高齢者対策
・住宅リフォーム助成制度

市営住宅

住環境の整備は

市長／交付金事業を活用



伊瀬知正人 議員

調査をしながら、積極的に進めていきたい。

伊地知 住宅使用料の未納者対策は。

建築住宅課長 通常は

市営住宅係が行い、定期的に建築住宅課全員で集中的に戸別訪問を行い徴収を実施している。

伊地知 牧之内団地は嵩上げをして建て替えてきかないか。

建築住宅課長 牧之内団地については、27年度から実施設計に着手する考えである。嵩上げもその段階で検討したい。

伊地知 老朽化した市営住宅が数多く見られるが、バリアフリー化など住環境改善を含め、今後の整備計画について、財源を基に示せ。

市長 整備については、市の総合計画などに基づき国の交付金事業を活用しながら建て替え時に、屋外スロープや室内の段差解消、手摺りの設置を行っている。

伊地知 地域活性化住宅を知覧地域や顕娃地域にも要望があれば対応する考えはないか。

市長 希望者がいれば、条件は満たされているか



老朽化が著しい牧之内住宅

議会を傍聴してみませんか!

次の議会は**12月11日**開会予定

※手続き簡単 本館2階で住所・氏名を書くだけ

傍聴者の声

顕娃町別府

濱崎 朋美

初めて議会を傍聴しました。議題の多さに驚きました。形式的な討論で済まされていくものと想像していましたが、一つの議題に対して複数の議員が何度も質問するのを見て、当たり前ですが、ちゃんとしているのだなと思いました。

市内の様々なことが協議されるので、今の南九州市を知るために議会を傍聴することも大切だと感じました。

顕娃町郡

西 和美

今回初めて議会を傍聴しました。議会の仕組みもよく分からないままの傍聴でしたが、議員の方々が、私たち市民の声をしっかりと受け止め、議論している姿を見ることができ大変うれしく思いました。

南九州市の発展のためにも、今後も議員の方々のご活躍に期待いたします。



市 民 の 声



知覧町 永里
宮崎 富江

年寄りのひょうひょう

消防広域化について、色んなことが聞こえてきます。市民の安心・安全を住民は心配している今日この頃です。自分自身に責任を持って「決して悪い結果は出さない」市民代表の議員の皆様を信じたいと思います。

今、永里で農家民泊の仕事をしてもらっています。色んな方との出会い、ご縁を頂き、家にいながら日本中のお話が聞けて何と幸せ！

でも、考えさせられることも心配することもあります。この

ままでもいいのだろうか？綺麗な物はお金で買えますが、心の美しさは買えないことに気付かず自分の欲望ばかりに振り回されている人の多いこと。人の心が、病んでいくのかのように思えて悲しくシクシクです。

このままで日本は大丈夫かな。私は年だから」と逃げ出さないで下さい。年寄りの出番です。

少しでも将来がよりよい方向に進むよう。子どもが大人になることに希望を持てる世の中になるように色んなことを教えてやって下さい。そして見せて下さい。私はいつも思っていることがあります。「これまで重ねた年月は私の財産ですから」と胸を張って言えるように今のこの時間を精一杯生きてみよう。

今日より若くなる日はありませんから・・・。



川辺町 清水
川口 正一

議会と議員に望むこと

地方自治体の長と議員は住民の直接選挙で選ばれる。なぜ、二元代表制なのかというと、住民生活に密接に関わる地方政治では、ともに直接選挙で選ばれた、政治を執行する長と住民代表である議会が、執行機関の独断専行を戒め、お互いに緊張関係を保ちながら、住民の利益を守り福祉の向上・充実を図ることが地方自治の第一義だからであろう。

議会だよりを拝見すると、個々の議員が住民や地域の実情・課題を把握し、その願いや要求を実

現するため頑張っている様子は窺い知ることができる。しかし、議員同士の議論がなく、関連の質問などで問題を深く掘り下げていくことがないので、議会での質問は行政全般の質疑応答に終始し、結果として執行機関の提案を追認しているように見える。今回、提出された「保育所の民間移管」・「指宿との消防の広域化に関わる協議会の設置」については、もっと丁寧な議論がなされてもよかったのではないかな。

議会の活性化を図るには、議員が行財政に精通し、執行部と互角に渡り合えること、地域住民に対する議会報告をするのと、議員同士が活発に議論し、政策立案能力を身につけることなどである。そこから、政治への一層の信頼が高まり住民の笑顔が見えてくると思う。

広報編集委員会 研修報告

10月10日に鹿児島市で開催された町村議長会主催の広報研修会に参加しました。

議会だよりは、議会の動きや予算の審査、議員の活動などをわかりやすく市民の皆さまに伝える役割があります。

今回の研修で学んだことを参考に、限られたスペースではありますが「市民の声」をはじめ、皆さまに情報提供をしていただくコーナーを設け、より親しみやすい議会だよりづくりに、委員一同努めてまいります。



編集後記

茶畑では秋冬番茶も終わり、きれいに園ならされ、冬支度が出来ました。いよいよ秋の深まりを感じます。

10月14日、第4回市民体育大会が知覧平和運動公園で開催されました。グラウンドでは市内20の地区の選手が健脚を競い合い、応援に声をからしました。この大会の大きな目的である市民の健康増進・親睦・融和など所期の目的を達成できた素晴らしい大会でした。

12月には南九州市も合併5周年の節目を迎えます。5年間を振り返り、更に将来を見据える機会にしたいものです。

(下窪)

▼広報編集委員会

委員長 峯 勝範
副委員長 田畑 浩一郎
委員 亀甲 俊博
下窪 一輝
西 次雄
吉永 賢三